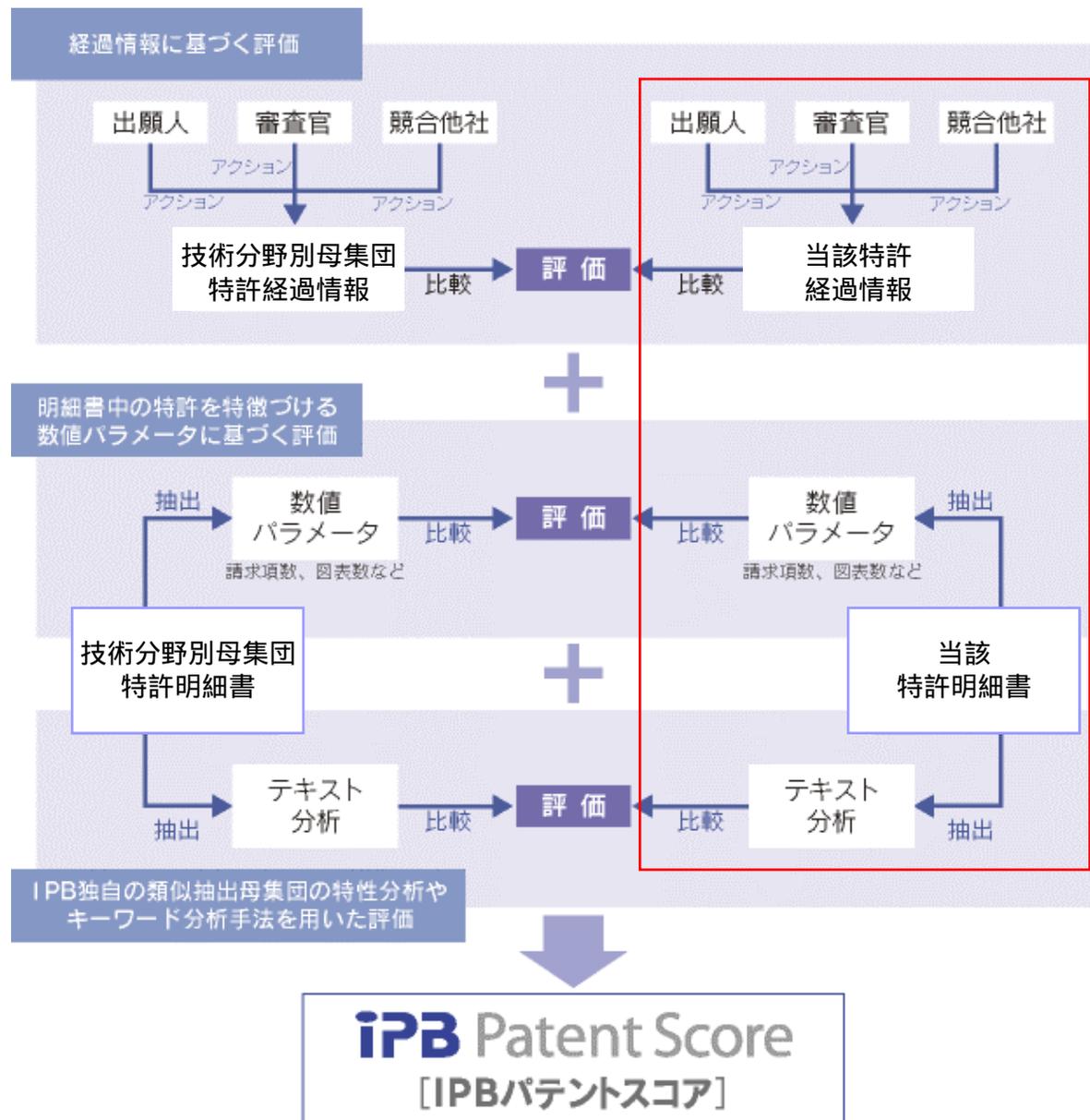


IPBパテントスコア

- 当該特許から経過情報、書誌情報を抽出、数値化
- 比較対象特許群である技術分野別母集団についても同じく処理
- 当該特許と技術分野別母集団の**相対比較**から当該特許に定量評価値(**パテントスコア**)を算出



➤ 審査経過情報を中心としたアクションを精査

- ◇ アクションが多いほど注目されている
- ◇ あまり起こされない(希少価値のある)アクションを有する程注目度アップ

➤ 3者の視点による多面的評価(客観的評価)

- ◇ 出願人(第一者): 優先権、不服審判...
- ◇ 審査官(第二者): 審査(引用)、審理...
- ◇ 競合他社(第三者): 異議申立、閲覧...

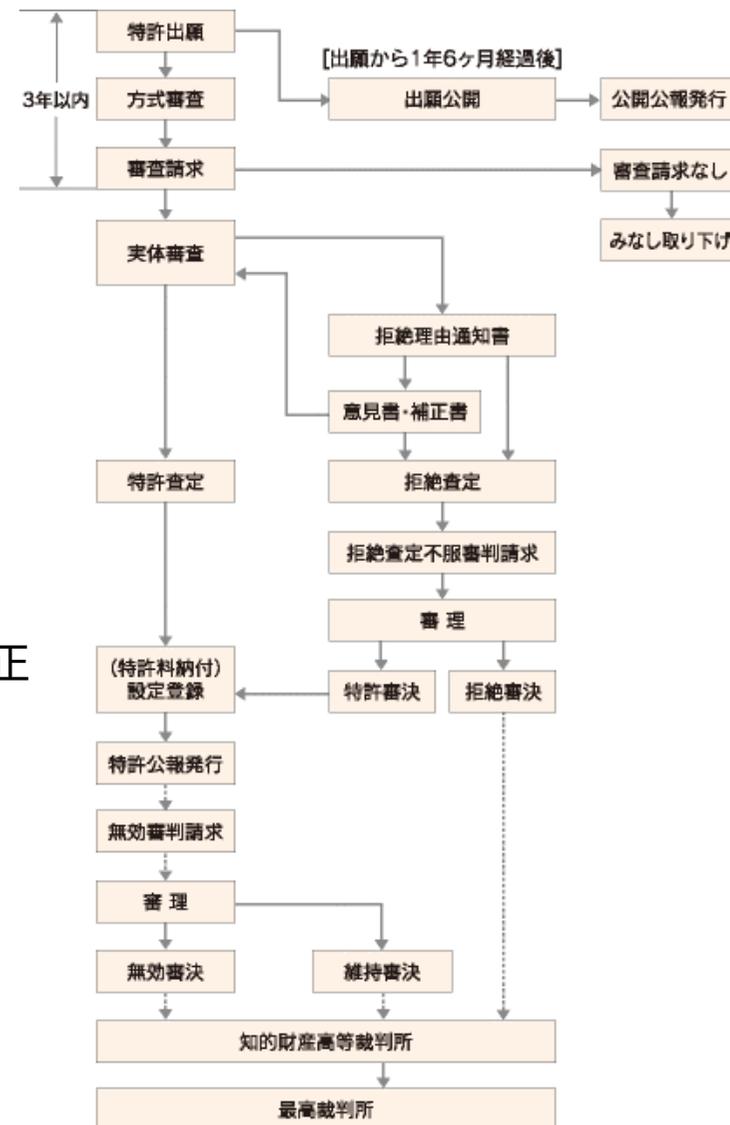
➤ 技術分野別評価

- ◇ 技術(IPC)分野による出願頻度、登録難易度等を補正
- ◇ 同IPC特許を比較対象特許群として偏差値導出

➤ 出願年別評価

- ◇ 古い特許ほど経過情報が付与される傾向を緩和
- ◇ 特許制度の変更による評価値の変化の緩和
- ◇ 流行、廃りの影響を緩和

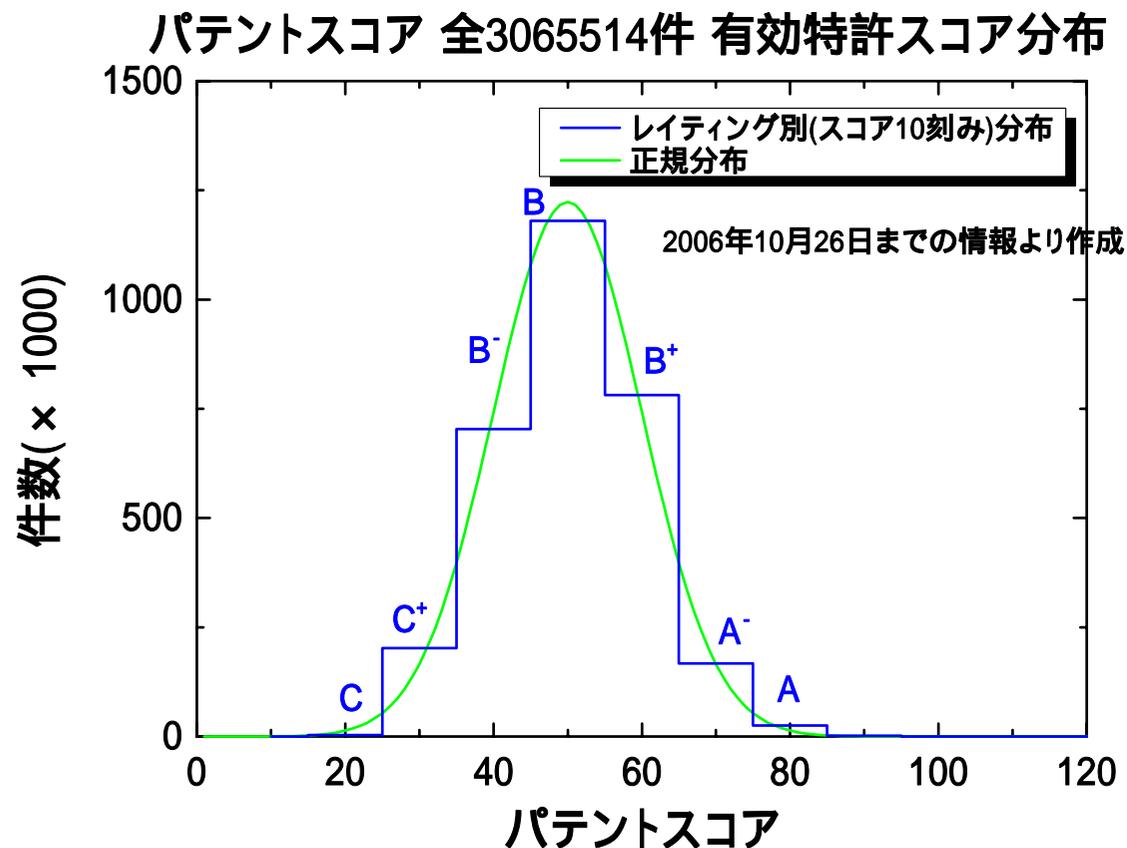
➤ 書誌情報は補助的に使用



- スコアは偏差値化して算出
- スコアの全体分布は概ね正規分布
- スコアに応じて12段階のレーティング

レーティング	スコア	出現率
A+++	105以上	0.000002%
A++	95~105	0.0003%
A+	85~95	0.023%
A	75~85	0.6%
A-	65~75	6.06%
B+	55~65	24.17%
B	45~55	38.29%
B-	35~45	24.17%
C+	25~35	6.06%
C	15~25	0.6%
C-	5~15	0.023%
C--	5未満	0.0003%

正規分布による参考値



平成19年度の主な発明賞受賞特許の評価結果

技術分野は特に
問わない²

出願番号があれば
評価可能¹

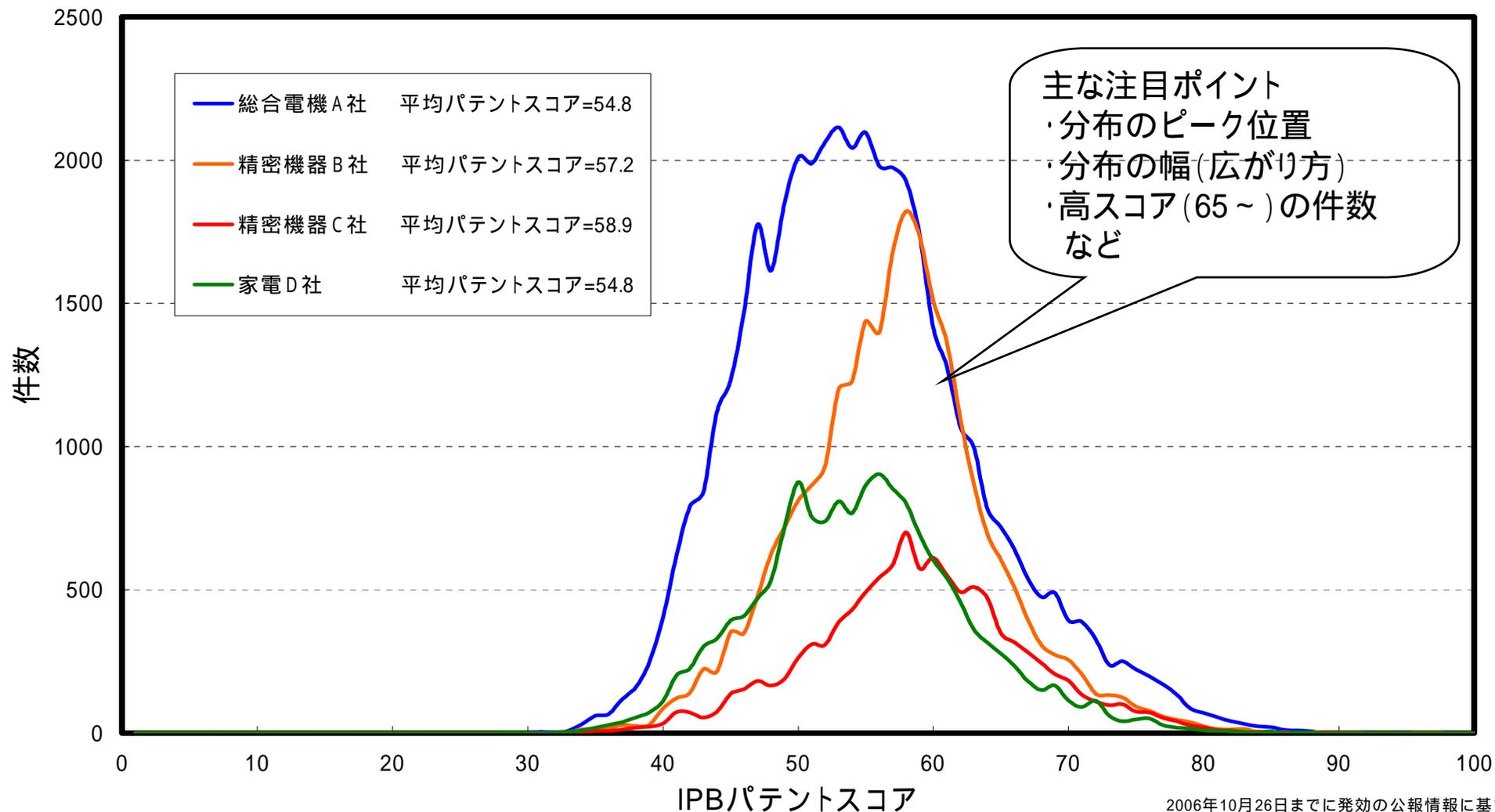
発明の名称	特許番号	パテントスコア	レーティング
磁気交換結合による熱安定性磁気記録媒体の発明	特許第3421632号	74.8	A-
接触分解ガソリンの脱硫処理プロセスの発明	特許第3443474号	55.4	B+
指静脈認証技術の発明	特許第3770241号	81.5	A
DVDとCDの互換技術の発明	特許第3661680号	63.8	B+
既設配管を再利用した環境配慮型空調機更新技術の発明	特許第3361765号	80.3	A
化学増幅型フォトレジスト用材料の発明	特許第3042618号	58.6	B+
オートゲートの発明	特許第3500388号	57.7	B+
微細なインク滴を吐出させるインクジェットの発明	特許第2783647号	57.4	B+
エアレーション及びプリセットスクイズ方式を用いた枠付生型鋳造型機の発明	特許第3413798号	64.5	B+
エアロゾルデポジション法の発明	特許第3740523号	59.6	B+
+ / サイズの析出を活用した高強度熱延鋼板の発明		-	A-

1 1986年以降出願の日本国特許に対して評価可能

2 他の出願が殆どない特殊な技術分野を除く

企業別スコア分布の比較

電気機器・精密機器



2006年10月26日までに発効の公報情報に基づく
1994年以降の登録特許

企業が保有する有効特許を資産としてとらえ、その量的側面(規模)から企業ごとのスコアを算出し、ランキング。特許件数だけでは見えなかった、企業の「特許力」を浮き彫りにする。

特許資産の規模¹ランキング (全業種)

順位	当期	(前期)	会社名	業種	特許資産の規模		総有効特許件数	
					当期	(前期)	当期	(前期)
1	(1)	松下電器産業	電気機器	737,111	(785,270)	42,181	(41,913)	
2	(3)	キヤノン	精密機器	405,106	(421,934)	24,979	(26,058)	
3	(2)	NEC	電気機器	393,853	(481,210)	25,519	(27,685)	
4	(4)	東芝	電気機器	382,255	(393,784)	25,308	(24,820)	
5	(5)	日立製作所	電気機器	372,748	(392,869)	21,635	(22,481)	
6	(6)	三菱電機	電気機器	289,781	(293,523)	17,461	(17,213)	
7	(7)	シャープ	電気機器	289,603	(279,715)	15,379	(14,400)	
8	(12)	セイコーエプソン	精密機器	253,982	(195,152)	9,464	(7,444)	
9	(8)	三洋電機	電気機器	226,688	(240,611)	14,778	(14,410)	
10	(9)	富士通	電気機器	220,616	(223,944)	15,064	(14,615)	

特許資産の規模増加²ランキング (全業種)

順位	会社名	業種	特許資産の規模		特許資産の規模増加分
			当期	(前期)	
1	セイコーエプソン	精密機器	253,982	(195,152)	58,830
2	日産自動車	自動車・輸送用機器	182,208	(160,716)	21,492
3	本田技研工業	自動車・輸送用機器	184,059	(166,995)	17,064
4	デンソー	自動車・輸送用機器	167,528	(153,072)	14,455
5	シャープ	電気機器	289,603	(279,715)	9,887
6	ジェイテクト	機械・造船	32,704	(23,133)	9,571
7	ルネサス テクノロジ	電気機器	23,596	(15,092)	8,503
8	富士ゼロックス	精密機器	104,569	(97,162)	7,407
9	コニカミノルタビジネステクノロジーズ	電気機器	7,752	(1,685)	6,066
10	JSR	化学	25,819	(20,250)	5,569

算出基準日...当期:2006年12月末(前期:2005年12月末)を基準としてIPBパテントスコアを算出
集計対象...電子化以降の公報のうち、当期:1994~2005年に登録された特許(前期:1994~2004年に登録された特許)

【¹ 特許資産の規模】

IPBパテントスコアにより、有効特許1件ごとのスコアを算出。さらにスコアの高低が明確になるように重み付けを行い、その特許の残存期間を乗じる。こうして算出された有効特許1件ごとの値の合算値が、その企業のスコアになる。

【² 特許資産の規模増加】

企業の特許資産規模の前年比増加分を表す。